



謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は議員活動、後援会活動に対しまして、格別なるご理解、ご支援を賜り、ありがとうございました。さて、昨年末に開会されました12月議会では、米国発の金融危機の影響にともない本市の基幹産業である自動車関連企業等の大幅な減益報道を受け、法人市民税の税込激減という状況のなかで重要な案件が審議され、そのすべてが可決し、閉会いたしました。

私は一般質問で「来年度以降の予算編成に対する取組」について徹底的な見直しを求める質問を行い、執行部に対して大いにはっぱをかけました。

近年にない厳しい財政状況のなかで、私は市民の皆さんが本当に求める、責任ある市政実現のために働かせていただきます。どうぞ、本年も昨年同様、温かいご支援賜りますよう心からお願い致します。

そして、皆様にとりまして素晴らしい年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

なお、公職選挙法第147条の2で「公職の候補者は当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類するあいさつ状を出してはならない」となっていますので、新年のご挨拶は失礼致します。ご了承ください。

豊田市議会議員 岡田耕一

おかだ耕一の苦悩

12月定例会におきまして各種議案が上程され、議員として責任をもって採決に臨みました。その際に非常に悩んだ案件についてご報告致します。

議案146号:豊田市職員の勤務時間を1日あたり15分短縮する条例改正

賛成

人事院勧告では平成21年4月1日から実施となっておりますが、本市では1月1日から実施します。この先行実施の是非について検討しました。この職員1人あたり15分の短縮は全職員(3,242名)1カ月あたりの総労働時間として16,210時間の短縮となります。そして、全職員の短縮時間を時間換算単価(1人平均:2,199円)で計算すると3カ月間で総額1億693万円になります。

そこで、時間短縮することで、実際にどのくらいの時間外勤務が生じるか確認したところ、市当局は「事務効率を高め、時間外勤務はほとんど増えることはない」と強く主張します。私はそれを信じ、市民にとっても不利益とならないと判断し、賛成致しました。

議案167号:市美術館収蔵用として速水御舟作の「鶏」を5,700万円で取得

反対

市美術館では速水御舟の作品をすでに4点所蔵し、本作品が5点目になります。20年度は予算2億円のうち、約1億円分を執行し、このほかに竹内浩一作「漂」650万円など、計20作品を取得します。

2度と取得する機会のない本作品の高い評価や私が以前から主張してきたように予算を使い切らない事は評価します。

ただ、今年度から直面している法人市民税の急激な落ち込みを考えますと高額美術品の取得には慎重にならざるを得ません。市美術館は貴重な作品があれば、まだまだ取得したいとも言います。私は市民に優れた作品に触れて頂く機会を企画展を開催することで十分であり、際限なく高額美術品を取得し続けるべきではないと考え、反対致しました。

おかだ耕一 後援会主催・おさむ会協賛

第2回 親睦バス旅行 南紀白浜温泉

- ★日 時:平成20年2月8日(日)~2月9日(月)
- ★旅行費:¥22,000(お酒を飲む方) ¥21,000(飲なまい方)
- ★宿泊旅館:ホテル シーモア TEL<0739>43-1000
- ★集合場所:後日、ご連絡致します。
- ★申込期限:平成21年1月15日(木)
- ★企画・主催:おかだ耕一後援会 協賛:おさむ会
- ★お申込み・問合せ先:森田 秋男 88-5797
- (株)日本レジャーサービス 常滑営業所 <0569>42-0440 担当:吉川



2月8日	豊田(7:00発)……伊勢湾岸・東名阪・西名阪・阪和道・湯浅道経由……道成寺(参拝・昼食)……紀州梅干館(見学)……三段壁(見学)……南紀・白浜温泉(16:00頃)泊
2月9日	南紀・白浜温泉(9:00発)……紀伊東照宮……和歌山城……海産物(買物)……和歌山(昼食)……名阪・東名阪・伊勢湾岸道……豊田(19:00頃)

とよた市民の会 無料法律相談のご案内

- 【開催日】
2月14日(土)・3月14日(土)
4月11日(土)
- 【時間】
いずれも午後1時30分~3時
- 【場所】
豊田産業文化センター4階
- お問合せ 小林おさむ 80-5323

弁護士に無料で相談できます。完全予約制といたしますのでご了承下さい。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

来年度以降の予算編成に対する取組 ～徹底的な見直しを求める～ (答弁は柿島総務部長、加藤教育次長)

9月に発表された本市の平成21年度 財政見通しは一般会計の当初予算額1,600億円、前年度比112億円減を目途に予算編成を行うとした。しかし、その後、トヨタ自動車は業績予想を下方修正し、売上高 前期比12.5%減、営業利益 73.6%減と大幅な減収減益とした。自動車産業の業績に大きく影響される本市の財政も今後、大変厳しい状況が続くと思われる。現在、市当局も9月時点の状況からさらに踏み込んだ予算編成に苦慮されている。議会としても「議員報酬のカット」や「海外視察の延期または中止」も検討する必要がある。



12/22には1,500億円の営業赤字と、大幅下方修正したトヨタ自動車

平成21年度一般会計予算はどうなる？

質問 21年度の法人市民税は前年度比で400億円減。さらに150億円もの企業への還付金支払いが生じる恐れもあり、財政調整基金や起債の活用も検討するという。このように近年まれにみる厳しい財政状況のなかで、市民生活への影響は少なからず出るとと思われる。次年度一般会計予算編成に際して現在、各課に対して具体的にどのような指示を出しているのか。

答弁 21年度当初予算編成は、課長査定まで終了。大幅な市税の減収見込みを受け、全事業の抜本的な見直しが必要と判断。全庁的に要求事業費の再精査を指示した。経常経費は今年度より枠配分方式を導入し、予算要求段階で経費の内容により最大8%の削減を既に行っているが、今後さらに経費の性質に応じ、5%または2%の削減見直し、政策経費は、普通建設事業費で35%削減見直し、その他のソフト事業費で15%の削減見直しという数値目標を示した。

質問 各種事業で見直しが必要なものはあるか。

答弁 現在実施している予算編成作業では、着手済みか否かを問わず、事業の緊急性・必要性という原点に戻って作業をしている。継続事業もその検討対象である。

広告収入等で歳入を増やそう

質問 税収増が期待できないなかで税収以外で歳入を増やす努力が必要だ。そこで、広告の導入を求める。考えられる広告は、市のホームページのバナー広告、各種封筒への広告、おいでんバス車内外や公用車への広告等もある。他市の事例では、長崎県松浦市議会の公用車をセダンから中古のハイブリッドミニバンに変更したうえで広告を掲載した車両もある。黒塗り高級車が主流のなかで、こうした取組は本市でも一考の価値がある。危機的とも言える次年度予算、また、それ以降の予算を考えるうえで、広告導入、その関連基準等を制定すべきと考える。



広告を掲載した松浦市議会公用車

答弁 広告は収入というメリットはあるが、公共という性格上様々なリスクを想定し、回避する必要がある。例えば、名古屋市交通局では市の100%出資会社を設置し、指定広告代理店制度により広告内容等によるリスクを回避している。どこまで効果があるか考え、引き続き、研究する。

質問 本市では、今年10月、ヤフー(株)が提供するインターネット公売システムで差し押さえ物件の公売を実施し、見積額70万円のリゾート会員権が100万円で落札された。公売に限らず、インターネットオークションの活用は歳入増を考えるうえで非常に有効である。奈良県大和郡山市では不用になった物品に対し、インターネットを活用した一般競争入札で多くの車両を出品。第一回目は、平均で予定価格比2.45倍、二回目はなんと18.8倍、三回目は2.83倍で売却。本市でも、インターネットを活用した公有財産売却の導入を強く求める。

第2回 大和郡山市 インターネット公有財産売却 落札結果(抜粋)

車種	走行距離(km)	予定価格(円)	落札価格(円)
H4 マツダ・ファミリア	100,023	2,000	40,000
H5 日産・ADバン	96,253	4,000	40,000
H4 ダイハツ・ハイゼット	56,940	2,000	180,000
H4 ダイハツ・ミラバン	68,290	2,000	50,000
H3 トヨタ・ハイエースバン	17,085	4,000	190,000
H3 日産・ラルゴワゴン	20,227	1,000	44,444
S62 トヨタ・カローラバン	82,782	7,000	350,000
S57 トヨタ・トヨエース	28,100	6,000	135,500
S54 ダイハツ・デルタトラック	55,735	6,000	115,430

答弁 公用車や土地の売却は現在、一般競争入札により、高い価格を提示した者に売却している。インターネットオークション導入は、誰でも参加でき、高額な落札も期待できるメリットもあるが、不適格者の参加を制限できないリスクがある。その確認事務も発生する。現在、実施している一般競争入札の方法と効果等を比較検証しながら、運用方法も含め研究していく。

美術品購入費の見直しを求める

質問 豊田市美術館 収蔵用美術品の購入予算は、かつては毎年10億円計上し、現在は2億円と毎年大変高額な予算を計上し、執行している。私は、過去、美術品取得の賛

否は、その時々、の景気動向や市民感情等を総合的に判断してきた。私は多くの市民の皆さんに素晴らしい芸術を間近に触れていただくための美術品購入の全てを否定する訳ではないが、過去の決算状況、取得作品等を確認すると、予算額いっぱいまで、作品を取得している状況が続いており、使い切ることが目的にも見える。本当に厳しい状況が迫っている次年度以降も同様の予算計上をするのであれば常軌を逸していると言わざるを得ない。近隣では碧南市が藤井達吉の代表作を総額1,500万円で購入する予定だったが、「市税が落ち込んでいる今は購入時期ではない」という市議会の考えから、取得を断念した。21年度以降は、長年続いた億単位の予算を削減すべきだ。



5,700万円で取得した速水御舟作の「鶏」

答弁 21年度の美術品購入予算は、財政状況を踏まえて、予算措置を行う。

質問 例年使い切り状態の予算だが、仮に億単位の計上をしたとしても限定した作品以外は取得せずに、不用額として残してもいい。21年度以降の美術品取得の考え方は。

答弁 美術品の取得は、毎年100点以上の「購入候補作品」の中から調査・検討を行い必要なものを厳選し「美術品収集委員会」に諮ったうえで取得している。作品は、たった1点でも効果をもたらすものもあるが、ある程度まとめて取得する方が、より良いと考える。今後も必要なものを十分精査したうえで、予算の範囲内で収集する。

質問 21年度の美術品購入予算はズバリいくらか。

答弁 現在予算編成中であり、財政状況を踏まえて予算措置を行っていきたい。

公用車の管理の見直し

質問 本市では公用車管理システムを12年10月から導入し、その日の稼働率は分かるものの時間単位の稼働状況は把握できない。仮に1日に30分でも使えば、システム上は100%の稼働実績となる。そこで、18年8月から1年間の庶務課が管理する共用車55台の稼働実績を調べると稼働率は104.9%。これでは実態は分からない。しっかり分単位で管理すれば、車両は減らせる。本当に今の台数は必要と考えているのか。また、現在の公用車管理システムを分単位で稼働状況が分かるシステムに改良し、共用車だけでなく、消防以外のすべての公用車を管理すべきと思う。その考えは。

答弁 現在、公用車管理システムで集中管理している車両は480台、うち庶務課が管理している共用車が51台。各課が直接管理している車両は420台。各課管理の420台は日々の業務でその都度予約することは事務的に非効率なので各課で管理している。これらは、毎年、所属ごとに稼働率を確認し、適正台数を判断し、基準に満たない車両は庶務課管理の共用車に移管したり、廃車している。従って、480台は適正台数と考える。共用車予約システムは希望者が30分単位で予約でき、共用車の効率的な利用に役立つ

ている。稼働状況を分単位で管理するシステム開発は現時点では考えていないが、稼働率の考え方を含め、公用車の効率的な運用を今後研究したい。

積極的に軽自動車を導入しては

質問 本市の全公用車リストを見ると積極的にハイブリッド車を導入していることがわかる。環境に配慮した車種選定と評価する。ただ、大和郡山市では、車種についても徹底的に機能と必要性を検討し、できる限り軽貨物車両に転換している。本市の場合、軽自動車はごく一部。トヨタ自動車のお膝元だからというのなら、連結子会社であるダイハツ製車両に更新することは可能だ。現在の車種選定は適切と考えているのか。また、今後、低価格、低コスト車両へ転換すべきと考える。所見を。

答弁 購入車種の選定にあたっては、ワイパーゴム等の消耗品の共通化など、整備の効率化を図るために、車種を限定し、所



積極的に軽貨物を導入する大和郡山市

管課に購入車両を示している。所管課は、それを参考に業務内容に応じて車種を選定している。共用車480台の内、軽自動車は37台。近距離使用や住宅街、狭い道路において普通乗用車や普通貨物車と比較し、利便性が高い事を考慮し、業務内容に応じ、コスト面も視野に選択肢の一つとして軽自動車の購入も考える。

セルフスタンドの活用を

現在、本市では、ガソリン等の燃料に関して豊田加茂石油業協同組合と毎年、物品供給契約を結び、契約金額については毎月見直し、変更契約をしている。参考までに12月に変更契約した無鉛レギュラーガソリンはℓあたり125円、軽油は122円。しかし、経済産業省所管の「石油情報センター」が発表する12月1日付、一般小売価格調査の愛知県平均を見ると無鉛レギュラーガソリンは122.3円、軽油115.9円。愛知県平均と比べ、レギュラーで3円、軽油で6円、本市の契約価格が高いことが分かる。

質問 現在、多くの市民が生活防衛のため、少しでも安い給油所を求め、セルフスタンドの利用が増えた。単価も安い。本市の公用車の燃料使用量を見ると19年度はガソリン約34万7,000ℓ、軽油約46万4,000ℓ。仮にセルフスタンドを活用し、10円安くできれば、年間800万円以上の経費削減となる。セルフスタンドの活用を求める。



12/17 98円/ℓで給油するおかだ議員

答弁 現在、市内の組合加盟店は85店舗あるが、その内、セルフ店は11店舗。利便性等を考慮した場合、フルサービスの利用が効果的と考える。また、現在のセルフ店は、現金かクレジットによる支払いを原則としており運用面で制約があるので、活用は難しい。しかし、セルフ店は、今後、増加が予想される。価格も、フルサービス店と比較すると安価であり経費削減につながる。運用も含めて活用方法を検討する。

市長公用車等の変更を求める

質問 現在、市長公用車は、19年3月から3年リースにてレクスLS460を月額約18万円で契約し、使用。他に黒塗り公用車は、副市長用に16年式クラウンセダンを約520万円で購入し、使用。他にクラウン3台も所有。1年で終わるとは思えない本市の危機的な財政状況のなかで、市長車等の黒塗り公用車も車両更新時には高級セダンから環境配慮や経費削減の観点でプリウスに変更すべきだ。京都市、前橋市、三島市、亀岡市の市長公用車もプリウスと伺う。このように環境問題に取り組む姿勢をアピールするとともに経費節減も考え、変更している自治体も増えている。どうしても執務ス

ペース確保の観点でプリウスが狭いというならエスティマのハイブリッド車も選択肢としては可能だ。所見を。

答弁 市長車の導入にあたっては、社会通念に照らし、40万市民の代表としての格式と合わせて市民の理解が得られること。知事、中核市などの公用車とのバランスを考慮したものだ。これらを総合的に勘案し、相応の車種を選択している。現在のところ車種の変更は考えていない。



これほどの高級車が必要か？

ここが聞きたい！ 議員？ 豊田市政？

市民の疑問におかだ議員がお答えします

豊田市では災害時のために非常食の備蓄をしていると思いますが、賞味期限後に廃棄しているのではないかと思います。その処分費用や非常食がもたないと思います。賞味期限前に各種施設に配布したりできませんか？

ご質問のとおり豊田市では、毎年、アルファ米やクラッカー等の非常食やトイレトーパー、紙おむつ等の緊急生活物資の備蓄を別表のように計画的に進めています。

ご指摘の賞味期限後の物資の活用状況についてですが、防災防犯課に確認しましたところ、期限が切れる前に各地域で開催される防災訓練等で全量有効活用されており、処分費用は一切かけていないということでした。

	17年度	18年度	19年度
アルファ米 (食)	19,400	13,000	17,000
クラッカー (缶)	16,000	14,000	6,000
ソフトパン (缶)	4,560	12,000	11,136
粉ミルク(13g) (包)	—	24,000	12,000
飲料水(500ml) (本)	20,400	—	7,200
毛布 (枚)	2,040	500	800
トイレトーパー(巻)	—	2,400	4,800
紙おむつ (枚)	—	4,920	4,920

友人からメールを頂きましたので本人の承諾を得て実名にて掲載いたします。

議員の海外視察は本当に必要ですか？

(三軒町 小笠原輝美)

私は12月議会も傍聴しました。議会でも示されたように、平成21年度の豊田市の法人市民税等の歳入は大幅に減る見通しです。市の事業も見直しを迫られることは必至であり、市当局も経費削減のため再精査を行うとしています。そのようなきびしい財政状況の中で、「市議の海外視察」については、来年度も実施される方向と伺っています。しかし、この「海外視察」も例外とせず、廃止あるいは見直しをすることも検討すべきだと私は考えています。

おかだ議員に話を聞くと、海外視察は共産党を除く全議員が参加するようで、まず、特別委員会設置後、議員をテーマに沿って6つの小委員会に分け、事前に研修を行うそうです。その後、国内の先進事例も調査した後に海外の先進地に赴き視察すると言います。議員一人当たりの費用は120万円にのぼります。平成20年度の海外視察については、3つの視察団の報告書が現在作成中であり、平成21年4月に広報とよに折り込まれる市議会だよりに報告書の要約が掲載される予定とのことです。

しかし、数日間の海外視察の成果について、私たち市民には十分に伝わっていないというのが現状ではないでしょうか。費用が高額である割には、豊田市政にさほど生かされていないのではないか？というのが率直な感想です。先進事例から学ぶべきはソフト面(制度・政策)であるはずですが、海外視察で直に見聞する情報というのはどちらかと言えばハード面(施設など)になりがちです。せっかく現地に赴いても、市の政策に生かすのが難しいのはこういう点にあるからではないでしょうか。

そこで、視察前に行われる研修にもっと重点を置いて、先進事例の制度等を十分に研究する形にしたほうが、より有益だと私は考えます。例えば、テーマごとに専門家を招いて講演などを継続して聴講すれば、国内外の事例や課題等を知ることができそうです。それで十分ではないでしょうか。そのうえで直に現地を訪問する必要があるれば海外視察を行えばよく、現在のように「まず海外視察ありき」という市議会の姿勢には疑問を感じざるを得ません。おかだ議員も含め、議員の皆さんの自発的な見直しを期待したいと思います。

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会

郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会

《他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ》

カンパ頂いた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたいため、ご一報下さるようお願いいたします。政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

《連絡先》

TEL/090-1752-7529

FAX/88-9194

(こーいち)

<http://www.ko1.org/>

E-mail:okada@ko1.org

市政に関するさまざまな
疑問、質問、要望、情報等
お気軽にご相談ください。